**大平地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和５年７月１９日（水）午後１時３０分～２時**
* **会　場：　栃木市役所大平総合支所　第３会議室**
* **事例数：　Ｔ.Ｓケース（１月１８日検討した事例の振り返り）**
* **参加者数： １４名**

**事例提供者１名、サービス提供事業者０名、助言者６名、**

**包括職員２名、傍聴者５名**

**病気の再発により服薬の大切さ、身体を動かすこと、口腔ケアの必要性を自覚し、家族の協力を得ながら介護予防に取り組み始めた70代女性**

**〈目標〉１日：趣味を楽しむ時間を持つ。**

**１年：楽しみを持って充実した毎日を送ることが出来る。**

**利用サービス：通所介護、訪問介護、福祉用具貸与**

**《前回会議での支援策》**

**支援方針：活動量を増やしていくこと、口腔ケアの重要性、食生活の改善案等を提案し、症状を悪化させない**

**支援を行う。**

**①腎機能低下予防の為、自主ストレッチや外出する機会で活動量を増やしていく提案を行う。**

**②腎機能低下による歯周病悪化を予防する為、口腔ケアの重要性を助言する**

**③食事摂取時間や食事内容の助言を行い、薬の効果的な服用が継続出来る支援を行う。**

**④食事の姿勢の確認や、減塩方法を提案し、無理なく食事が摂取できる支援を行う。**

**《支援結果・状況》**

**①達　成**

**・R5年4月にANCA腎不全を再発して10日間入院。これにより本人も病気に対し認識を改め、退院後**

**は食生活を見直し1日3食摂るようになった。身体を動かすことの大切さを理解し、自宅でも積極的に**

**リハビリを行うようになった。**

**・本人の入院を機に息子も認識を改め、積極的に関りを持つようになり、通院時には同行するなど行動の変**

**容がみられた。**

**・本人の自宅で暮らしたいという気持ちが強くなり、2階にあった寝室を1階に変更し、住宅改修や福祉用**

**具を利用するなど住環境整備を実施した。**